

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスうららか			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日 ~ 2025年 12月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数)	14人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25日 ~ 2025年 12月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の児童の活動の様子を丁寧に振り返りながら、課題の有無や内容を確認し、それぞれに応じた適切な対応について検討・確認を行っている。	非常勤職員も一緒に確認し、全職員が周知して活動プログラムを実施している。	全職員が意見を発言できる環境を整え様々な視点から児童にアプローチする方法を検討する。共通認識のズレなどがあるため、朝礼等確認後も各自いつでも確認できる場所に配置し、職員間でも声をかけあい情報の確認把握に努めている。
2	保護者様との連絡手段は複数用意し、連携を図っている。	連絡帳の活用や電話、メール、SNS等保護者様が連絡しやすい方法で実施している。	現在は月に一度配布物にて活動の様子を写真でお伝えしている。今後は保護者限定で閲覧できるものを用意し、写真をアップロードする頻度を増やすなど、さらに活動の様子がわかる方法を検討する。
3	毎月職員全体で活動プログラムを話し合い、季節や状況に応じたプログラムの提供を実施している。	毎月プログラムを記したおたよりを配布し、保護者様が周知できるように努めている。	児童によってさらにプログラムをきめ細かく作成する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員一人一人の知識や療育にあたって対応力の向上など、事業所全体で質の向上が必要。	臨機応変に対応したり支援プログラムの理解が必要なので指導員個々の知識や経験など偏りが生じやすい。	参加できる研修を増やし事業所全体で強化を図る。経験のある職員がフォローを行い全体で支援の方向性を理解し、質の向上を図る。
2	保護者様同士の交流の機会を十分に設けることができていない	保護者会を実施する曜日の設定や段取り等を検討する機会を設けるのが難しい。	職員会議の際に保護者会について検討する時間を設けるとともに、保護者の皆様とも密に連携を図り、多くの方にご参加いただけるよう配慮する。
3	非常災害時対策の周知が不十分。	職員欠勤時の場合、配置変更後の対応が一部行動の統一ができない。	研修、訓練以外にも最低月に一度災害マニュアルを全体で確認周知する。